

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束ゼロに向けた取り組みをより強化する。	職員全員が身体拘束をしないための検討・工夫・取り組みを考える習慣を身につける。	身体拘束ゼロに向けた検討会を定期的に行い、話し合った検討結果を記録に残し次の検討会においてその成果を話し合い次のアクションに繋げていくと言うPDCAのサイクルを実施する。	24ヶ月
2	4 ・ 10 ・ 11	運営推進会議・家族会・職員ミーティング等における様々な意見・要望を更に運営へ反映することで、利用者が「その人らしく生活する」と言うグループホームのあるべき姿を追求したい。	利用者や家族、職員、自治体や近隣住民及び行政の意見・要望が管理者や職員全員へ周知され、より反映される取り組みの継続。	運営推進会議、家族会、職員ミーティング等それぞれの議事進行において積極的に意見・要望が出てくるような雰囲気づくりに注意を払い、議事録に残すことで貴重な意見を、運営へ行かせるようにする。	24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。